

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 春日井商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考						
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等								
				指標	数値	指標	数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	必要性	補足	目標①		目標②					
巡回・窓口相談指導事業	厳しい経済情勢により経営に影響を受けている小規模事業者を中心に巡回及び窓口において相談・指導を行うとともに、タイムリーな情報提供と経営支援を行い、経営基盤の安定強化に努める。	経営指導員毎に担当地区を決め、地区内の小規模事業者を計画的に巡回し、各種施策や事業を周知するとともに、企業が抱える課題を解決するために提案するとともに併走型支援を実施した。 ・巡回・窓口指導企業数 1,069社（経営指導員8人） ・巡回・窓口指導延件数 2,060件（経営指導員8人） ・課題解決提案件数 81件（経営指導員8人） ・経営革新計画承認件数 3件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 143.1%)	1,440	実績 数値	2,060	指標 課題解決提案件数 (達成度 101.3%)	80	実績 数値	81	巡回指導及び窓口相談への対応により、小規模事業者が抱える経営問題、課題の解決及び経営改善に繋がった。	総合評価 A	実施評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への調査結果	満足度 A	必要性 A	補足	現行どおり	現行どおり	コロナ感染症にも配慮しながら、小規模事業者の巡回を行い経営改善に繋がる支援を行っていく。
記帳継続指導	小規模個人事業主を対象として、日々の記帳処理から決算・申告までを習得し自主申告することを目的に、定期的に対面指導を行う。	・記帳対象者数 166人 ・指導延日数 679日 ・指導回数 1,931回 ・税務連絡協議会（中止）	小規模事業者	指標 記帳指導延回数 (達成度 96.6%)	2,000	実績 数値	1,931	指標 (達成度 %)				小規模事業者の記帳と確定申告について丁寧な指導をし、自社の経営状況の把握に繋がった。また、青色申告特別控除申請等正確な記帳と適正な税務申告ができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への調査結果	満足度 A	必要性 A	補足	現行どおり	現行どおり	小規模事業者の記帳と確定申告について丁寧な指導に努めていく。
講習会等	小規模事業者等に対し必要な経営知識を提供し、資質向上と経営体質の強化に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数【集団】 6回 90人 【経営革新セミナー 2回19人】 【個別】 120回 478人 計 126回 568人	小規模事業者	指標 個別指導参加延人数 (達成度 79.7%)	600	実績 数値	478	指標 (達成度 %)				小規模事業者の経営知識、資質向上となる講習会の実施により、経営力強化、改善支援を図った。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への調査結果	満足度 B	必要性 A	補足	現行どおり	現行どおり	経営知識、資質向上に繋がる講習会を実施していく。
若手後継者育成事業	企業経営者（後継者等）、企業経営に携わる女性に対し、研修会等を開催し企業経営者等として研鑽をつみ、当所事業活動に積極的に参画・協力を通じて地区内の商工業の振興を図ることを目的とする。	【青年部】 会員数 134名 役員会等 20回 総会 2回 定例会 5回 研修会 3回 【女性会】 会員数 53名 理事会等 20回 研修会 1回 交流会 1回 講演会 0回	小規模事業者	指標 青年部会員数 (達成度 134.0%)	100	実績 数値	134	指標 女性会会員数 (達成度 106.0%)	50	実績 数値	53	若手経営者及び女性経営者などの資質向上に繋がり、企業の安定経営、地域振興活性化に寄与した。	総合評価 A	実施評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への調査結果	満足度 B	必要性 A	補足	現行どおり	現行どおり	青年部女性会員の資質向上に繋がる事業を展開するとともに、引き続き積極的な加入促進を行い、会の維持拡大に努めていく。
景気動向調査	小規模事業者の持続的発展に向け、業種別の景況、経済動向の調査と分析、周知を行う。	・L O B O調査（商工会議所早期景気観測システム調査） 5社	中小・小規模事業者	指標 L O B O調査対象事業所数 (達成度 100.0%)	5	実績 数値	5	指標 (達成度 %)				全国の業界の景気状況を把握することができ、小規模事業者の経営改善や経営計画策定の指針となった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への調査結果	満足度 B	必要性 B	補足	現行どおり	現行どおり	調査を継続実施し、景況状況（全国・当地域）の把握に努めていく。
経営計画策定支援	春日井市内の小規模事業者が経営課題を解決するため、専門家や関係機関、金融機関と連携し、併走型支援により事業計画策定等の支援を行う。 小規模事業者の現状・課題・強みを把握し、より具体的な実現性の高い目標設定、計画策定について助言・指導を行う。	・事業計画策定等に関するセミナー1回、個別相談会 1回、参加企業数 13社 中小企業診断士や税理士を講師に事業計画策定セミナーや個別相談会を開催 ・経営計画策定 個別相談企業数 6社 事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行うとともに、事業計画の策定を支援した。	小規模事業者	指標 セミナー、相談会開催回数 (達成度 66.7%)	3	実績 数値	2	指標 個別相談企業数 (達成度 158.3%)	12	実績 数値	19	小規模事業者の効果的で実行性の高い計画を策定することができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への調査結果	満足度 A	必要性 A	補足	現行どおり	現行どおり	セミナーや個別相談会を通じて、経営計画策定の必要性を伝えつつ実現性の高い計画策定に繋げていく。
専門相談	小規模事業者が、効果的に実現性の高い計画を策定するため、併走型支援事業を行い、中小企業庁が運営する企業支援サイト「ミラサポ」等の専門家を活用し、相談会・企業連携にて計画策定支援を行う。	専門家活用企業数 48社 併走型支援事業（46社） ミラサポ（2社）	小規模事業者	指標 専門家活用企業数 (達成度 160.0%)	30	実績 数値	48	指標 (達成度 %)				専門家を交えた併走型支援により、小規模事業者の問題解決、経営改善へと繋がった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への調査結果	満足度 A	必要性 A	補足	現行どおり	現行どおり	併走型支援事業を積極的に活用し、専門家の的確なアドバイスにより実現性の高い計画の策定支援に努めていく。
広報活動	小規模事業者の新品や自社の取り組みや、マスメディア等へ露出提供、また広報誌等での情報発信による、需要開拓支援を実施する。	【地元新聞への記事掲載】 掲載件数 40件 小規模事業者の新品や企業の取り組みなどを周知するため、地元紙に記事掲載を依頼した。 【広報誌での情報提供】 掲載企業数 24件	小規模事業者	指標 記事掲載件数 (達成度 333.3%)	12	実績 数値	40	指標 掲載企業数 (達成度 100.0%)	24	実績 数値	24	小規模事業者の事業内容や企業情報を広く周知することにより、認知度アップに繋がった。ビジネスでマッチング機会を提供することができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への調査結果	満足度 B	必要性 B	補足	現行どおり	現行どおり	小規模事業者のサービスや強みを広く周知することで販路拡大に繋がっていく。
商談会・ビジネスマッチング事業	小規模事業者が策定した経営計画を推進するために、新たな市場の販路開拓や既存市場への効果的なマーケティング戦略の支援事業を実施する。	・かすがいビジネスフォーラムの開催に代えて、i oビジネスフォーラム2020を開催 11社 春日井市及び近郊の事業所を中心に、商品・サービスや取り組みを紹介するとともに、連携金融機関等と協力してビジネスマッチングの機会を創出した。	中小・小規模事業者	指標 フォーラム出展企業数 (達成度 13.8%)	80	実績 数値	11	指標 (達成度 %)				新型コロナウイルス感染症の影響で、対面式のビジネスフォーラムを中止し、eサイトでそのビジネスフォーラムと規模を縮小して開催となったが、小規模事業者の知恵と技を周知するとともにビジネスマッチングの機会を創出しに繋がった。	総合評価 C	実施評価 C	自己評価 C	調査結果 事業者への調査結果	満足度 B	必要性 B	補足 コロナの影響で会場開催ができず、サイト版へ変更	現行どおり	現行どおり	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、eサイト上でのビジネスフォーラムを開催していく。
ビジネス交流会事業	全業種を対象に、会員同士のビジネスチャンスを創出することを目的に開催している「ビジネス交流会」にて新規取引先獲得の機会を提供する。また、東尾張地区（瀬戸、小牧、春日井）での広域ビジネス交流会を開催することにより、より多くのビジネスマッチング機会が創出でき、商取引の拡大に繋がった。	【ビジネス交流会】 開催回数 1回 参加企業数 21社	中小・小規模事業者	指標 交流会開催回数 (達成度 50.0%)	2	実績 数値	1	指標 交流会参加企業数 (達成度 35.0%)	60	実績 数値	21	ビジネスマッチング機会と新しい出会いの場を創出し、商談及び取引に繋がった。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B	調査結果 事業者への調査結果	満足度 B	必要性 B	補足 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止（1回のみ開催となった）	現行どおり	現行どおり	新型コロナウイルス感染症に配慮しつつ、小規模事業者同士のマッチング機会を引き続き創出していく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 春日井商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考
				目標①		目標②		得られた効果	ABCD評価					今後の展開・改善点等			
				指標	実績	指標	実績		総合評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	改善点	
広域商談会事業	あいち産業振興機構と尾張8商工会議所で共催する広域商談会（尾張会場）を開催し、製造業のビジネスマッチング機会を創出する。	【広域商談会（中止）】 参加企業数 0社	中小・小規模事業者	指標 商談会参加企業数 (達成度 %)	指標 (達成度 %)	得られた効果 広域商談会が中止となったことから、マッチング機会の創出等効果を得られなかった。	総合評価 A	自己評価 —	調査結果 —	満足度 —	補足 新型コロナウイルス感染症により中止のため評価なし	目標① 現行どおり	目標② —	改善点 令和3年度は開催方向で進んでおり、参加企業増に向けて案内をしていく。尾張地区でのビジネスマッチングの機会を創出していく。	○		
創業支援事業	将来の日本を担う「ヤル気のある企業経営者」の創業を支援し、春日井市及びその周辺都市の活性化を図るとともに、事業所数の減少に歯止めをかけるため、経営のノウハウ・ビジネスプランの策定などを指導する創業セミナー・創業塾の開催、受講者に対し、伴走型支援を行い、起業及び経営のサポートを行う。	【とうしゅん創業塾】 参加者数 35名 【かすがい創業塾（中止）】 参加者数 0名 【創業セミナー】 参加者数 13名	小規模事業者	指標 創業塾受講者数 (達成度 87.5 %)	指標 セミナー参加者数 (達成度 86.7 %)	創業についてのノウハウを習得することができ、円滑な創業へ繋げるとともに、創業希望者相互の情報交換の場も提供できた。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 —	目標① 上げる	目標② 現行どおり	改善点 創業相談も増加傾向である中で、金融機関とも連携をし創業者の支援を強化を図っていく。	○		
後継者育成事業	経営者の高齢化が進む中、廃業を予定している企業のうち3割が「後継者難」を理由にしており、後継者が決定しても事業承継の実行には多大な時間がかかる等、後継者の確保や育成が大きな課題となっている。スムーズな事業承継を行うための、実務に必要な知識やノウハウを学ぶことが出来る育成塾を開催する。	【後継者育成塾（中止）】 0回 参加者数 0名 【環境改善講座】 1回 参加者数 28名	小規模事業者	指標 育成塾受講者数 (達成度 140.0 %)	指標 (達成度 %)	今回は、事業を継ぐ側の方を対象として企業内環境改善をテーマに今後の経営計画、やるべきことを伝えることができた。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 —	目標① 下げる	目標② —	改善点 テーマ、内容等の見直しを行い、事業承継アンケート調査先への個別の案内を行うことで集客増も含む育成塾の開催を予定していく。	○		
人材育成事業	春日井商工会議所青年部のメンバーが講師となり、勤労観・職業観の育成を目的として、中学生や高校生を対象に、仕事や企業に関する講話を開催する。	【キャリア教育推進事業】 講話会 1回 参加企業 6社	中小・小規模事業者	指標 講話会開催回数 (達成度 50.0 %)	指標 講話会参加企業数 (達成度 50.0 %)	中学生・高校生に創業、会社経営について意識させ、将来を担う人材の育成に繋がった。	総合評価 B	自己評価 C	調査結果 C	満足度 B	補足 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	改善点 講話会開催の要請も多く、市内中学生に経営への理解を深め、創業への意欲を含め将来の人材育成に繋げていく。	○		
雇用促進事業	春日井・小牧地域の中小・小規模事業者に人材確保の機会を提供し、地元企業に就職を希望する求職者とマッチングさせることにより企業の採用計画をバックアップする。	【就職フェアin春日井・小牧】（対象：新規求職者、3年以内既卒者、一般求職者） 開催回数 1回 参加企業数 59社 【高等教育進路指導担当教諭と企業主催：春日井商工会議所・小牧商工会議所 共催：春日井市、小牧市、愛知県、（公財）愛知県労働協会	中小・小規模事業者	指標 就職フェア参加企業数 (達成度 147.5 %)	指標 77777777説明参加企業数 (達成度 %)	市内企業の採用支援を行い、企業の基盤強化に貢献した。	総合評価 B	自己評価 C	調査結果 C	満足度 B	補足 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	改善点 学生の就活ニーズに合わせて、支援セミナー等も検討していく。	○		
ブランドによる地域活性化推進事業	春日井市の知名度向上により都市間競争に打ち勝ち流入人口を増加させ、春日井市を活性化させるために、地域ブランドを活用した「魅力ある春日井」づくりを推進し、地域力を向上させる。	【サポテンブランド化に関する検討会議と事業推進 3回】 全国的に真似のできない実生生産できる有る「サポテン」地域資源と位置づけ、これまでの「産業化」から「市民文化としての定着」へ視点を拡大して、ハード及びソフトの両面から情報発信と交流の場を創設するための事業を実施した。	小規模事業者	指標 検討会議開催回数 (達成度 100.0 %)	指標 (達成度 %)	産業化から市民文化の定着という新たな目標を構築できた。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 C	補足 新たなサポテンブランドの構築に向けて取り組んでいる。	目標① 現行どおり	目標② —	改善点 コンベンション協会や行政とも連携を取りブランド構築に向けて取り組んでいく。	○		
商店街・まちづくり事業	名古屋のベッドタウンとして栄えた春日井市も今や31万人を有する中核都市に成長した。春日井市長が掲げるスローガン「ベッドタウンからライフタウンへ」を推進するために、春日井市や春日井市商店街連合会と連携し、市内商店街活性化施策を推進し魅力あるまちづくりを図る。	【かすがいまちせみ】 開催回数 42回 全国的にも商店街の衰退化が問題視されている中、中小小売店で新規顧客の獲得に成果を挙げている店主が講師となり得る情報を伝授する「まちせみ」を、春日井市商店街連合会と共同で開催（店舗とオンラインによる開催）した。	小規模事業者	指標 まちせみ開催回数 (達成度 70.0 %)	指標 (達成度 %)	個店でのせみ開催により、商店街及び個店の来店客が増加し、商店街及び個店の活性化に繋がった。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 コロナの影響でまちせみ参加店舗が多く見られた。	目標① 下げる	目標② —	改善点 参加店舗の内容を充実させ、より一層商店街及び個店の活性化に繋げていく。	○		
地域振興事業	会議所が推進する地域ブランド商品、春日井特産品認定商品を春日井まつりや市内イベントで紹介するなど、広く市民にPRするとともに、販促活動及び観光振興を行う。	【地域振興・観光振興イベントへの出店】 出店回数 1回 ・サポテンフェア（中止） ・春日井まつり（中止） ・全日本女子学生剣道優勝大会（中止） ・新春マラソン大会（中止） ・全国高等学校剣道選抜大会「地域特産品セット」販売	中小・小規模事業者	指標 イベント出店回数 (達成度 20.0 %)	指標 (達成度 %)	新型コロナウイルス感染症の影響で各イベントが中止となり周知の機会は減少したが、大きなイベントでの販売周知を行い、サポテンブランドの認知度がアップした。	総合評価 C	自己評価 C	調査結果 C	満足度 B	補足 —	目標① 下げる	目標② —	改善点 より一層のブランド・特産品の知名度アップに向け、コンベンション協会、行政とも連携しイベント等での周知に取り組んでいく。	○		
部会・委員会事業	部会・委員会活動により、業種別・目的別の企画・立案事業を開催し、よりきめ細かな支援を実施。経営改善の推進、地域の振興活性化を目指す。	【部会事業】 10回 （製造業、建設業、卸小売業、飲食業、サービス業） 【委員会開催】 10回 （総務、事業継続、新事業創出、雇用促進、人材育成、企業間交流・産学連携、生産性向上・業務効率化、活力あるまちづくり）	小規模事業者	指標 部会事業開催数 (達成度 76.9 %)	指標 委員会開催数 (達成度 83.3 %)	部会・委員会活動の開催により、業種別によるきめ細かな事業を実施し、小規模事業者への支援に繋がった。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 —	目標① 上げる	目標② 上げる	改善点 部会（同業種）事業の活性化、共通する課題解決テーマに重点を置き事業を進めている。	○		
福利厚生事業	経営と雇用の持続的安定を図るため、共済制度の普及を拡大する福利厚生者の充実を図り、企業の発展を支援する。	・生命共済加入事業所数 857社	小規模事業者	指標 生命共済加入事業所数 (達成度 95.2 %)	指標 (達成度 %)	福利厚生者の充実を図り、小規模事業者の経営安定に繋がった。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 —	目標① 下げる	目標② —	改善点 キャンペーン実施（巡回）に取組むことで小規模事業者の福利厚生者の充実を図っていく。	○		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。